

チームビルディングと目標設定のためのワークショッププログラム

土屋 正人

Vol.98 で、若手・中堅エンジニアを対象に実施した「分類することでビジネスを考える」ワークショッププログラムを紹介しました。今回は、同じく今後を担う若手・中堅のエンジニアを対象にして実施した「チームビルディングと目標設定のため」のワークショッププログラムを紹介します。

◆ プログラムと配置

プログラムは以下の通りです。

- **オープニング(30分)**
目的およびプログラムの共有、お互いを知る
- **経験の共有(30分)**
これまでの仕事でやって良かったことは何か？
これまでの仕事で問題だったと思うことは何か？
- **使命の確認(30分)**
やりたいことは何か？
プロジェクトメンバとして何ができるか？
プロジェクトメンバとして何をやるか？
- **クロージング(15分)**
自分の使命の宣言と全員での共有

配置は Vol.98 で紹介したワークショップと同じで、参加者が動きやすいよう、半円を描いて椅子に座ってもらいました。机は道具置き場です(図 1)。

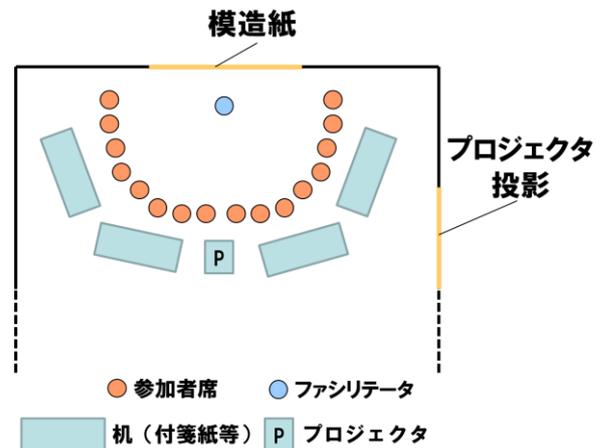


図 1 配置

◆ オープニング

まず、参加者同士で自己紹介をしてもらいました。各自 A4 の紙に自己紹介用マインドマップを描いてもらい、それを使ってひとり1分で話してもらいます。マインドマップは、センタイメージに自分の名前を書き、4つの BOI(所属、これまで(の仕事概要)、現在(得意・不得意なこと)、これから)を描いて、「これから」を除く3つの枝を記入してもらいました(図 2)。「これから」の枝は、クロージングの前に埋めてもらいます。



図 2 自分マップ

◆ 経験の共有

チームビルディングには傾聴が欠かせないと思います。一緒に仕事をしたことがない人同士でペアになり、相手の話をしっかりと聴く体験してもらいました。手順は以下の通りです。

- ひとりが話し手、ひとりが聴き手になる
- 話し手は、これまでの仕事で「やって良かったこと」「問題だと思うこと」「それぞれの理由」を話す
- 聴き手は、話し手の話の要点を A4 の紙に書き出す
- 5 分経ったら、話し手と聴き手を交代して同じことを行う

互いに傾聴し合った後で、相手から聴いた中から参考になったことを発表してもらい、全員で共有するために、ファシリテータが模造紙に書き出しました。

◆ 使命の確認

続いて、この場に来るまでに考えていたことや、ペアになった相手から聴いたこと、模造紙に書き出して共有した中から思いついたことなどを基に、自分が「やりたいこと」を付箋紙に書いて模造紙に貼りだしてもらいました。やりたいことはいくつ出してもいいのですが、それぞれ理由を明示してもらいます。類似した内容の付箋紙は近くに寄せてもらい、全員で共有しました(図 3)。

次に、貼りだされた付箋紙を参考にして、自分が「やること」をひとつ以上決め、オープニングで作成した「自分マップ」の「これから」の枝に記入してもらいました。他の人が書いたものから気づきを得ることもあります。必ずしも自分が付箋紙に書いた内容が「やること」になるとは限りません(図 4)。

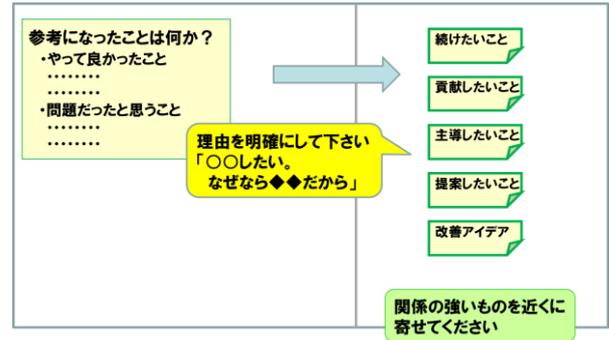


図 3 やりたいこと

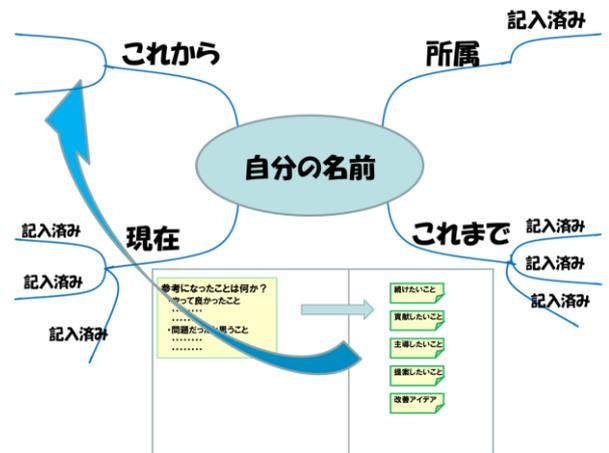


図 4 やること

◆ クロージング

最後に、自分が決めた「これから」の枝に書いた「やること」を、自らの使命として全員の前で発表して、ワークショップは終了しました。

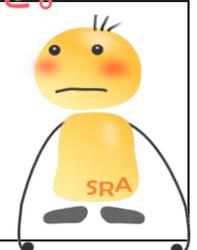
ワークショップは夕方から始めたため、この後は軽食を取りながらの情報交換会を行いました。2 時間弱のプログラムと 1 時間程度の情報交換会でしたが、参加者それぞれ気づきを得られたのではないかと思います。

プロジェクトのキックオフ等の際の参考になれば幸いです。

夢を。

GSLetterNeo Vol. 99
2016 年 10 月 20 日発行
発行者 ●株式会社 SRA 先端技術研究所
編集者 ●土屋正人

バックナンバーを公開しています ●<http://www.sra.co.jp/gsletter>
ご感想・お問い合わせはこちらへお願いします ●gsneo@sra.co.jp



株式会社SRA

〒171-8513 東京都豊島区南池袋 2-32-8

夢を。Yawaraka Innovation
やわらかいのバージョン